

NO.18 2025.10.28 自然との関わり、生命尊重 思考力の芽生え 編

秋の自然の中で、沢山の虫を捕まえることに夢中な子どもたちです。沢山の自然の不思議さを身 の周りの生き物を観察しながら感じている子どもたち。今回は中学校の理科の教師をされていた末広 先生(愛称 すえ T)に来ていただきました。子どもたちの不思議に思う事に答えてもらったり、新た な不思議に気づいたりする機会となりました。

子ども達が「なんで?」と思った時に図鑑や iPad などで調べるのですが、その疑問自体が「科学 の芽 | ですよね。それを大切にしたいので3歳児はすえTに「なんで○○なのか? | という質問コー ナーを作って、様々な疑問に答えてもらいました。5歳児は日頃食べているぶどうの皮を使って、色 がなぜ変化するのか?の実験をさせてもらいました。それぞれの学年の取り組みを紹介しますね。

~3歳児 りんご組 質問コーナー~



『しょうりょうバッタ』

10メートル位跳びます。バッタが子どもたち位の大きさだった ら、りんご組から小学校のプール位まで跳べる力があるそうです。 「男の子!」と子どもたち。

正解:メスの方が大きいですが、遠くまで跳べるのはオスだそうで

『天気』・・・当番で今日の天気をみんなに知らせる 役割があるので、興味津々でした!

乗「雲は水とか氷とかでできています。最初は雲は 小さいけれど、ぶつかってくっついたりして、段々 大きくなってくる。雲が大きくなりすぎると、雨が 降ってくるよ。|



『なぜ夜は暗いのか?』

「明るい時は、太陽がみんなを照らしてくれているけれど、太陽が下に行くと、暗くなるんだ よ。でも地球は丸いから、反対側のブラジルとかの人は明るくなっているんだけどね。夜は太 陽がみんなの見えないところにあるから、暗いんだよ。」



りんご組は他にカマキリの事、てんとう中の事、かぼ ちゃの花の事など、色々と質問していました。一つひ とつの質問に丁寧に答えてくださり、質問の時間が終 わって戸外に出ても、ばったやてんとう虫を探して実 験してみようとしている子どもたちでしたよ。きっと 子どもたちは学ぶ事の楽しさを感じたと思います。

~5歳児 すみれ組 ぶどうの皮を使った不思議実験~



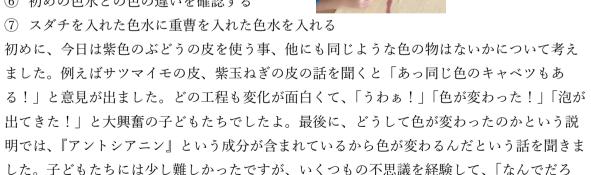




すみれ組では、紫色のぶどうの皮を使って実験をさせてもらいました。

- ① 初めにビニールに少しの水と乾燥させたぶどうの皮を入れて揉む
- ② 色水ができたら、卵パックに気を付けて移す(4か所)
- ③ 一つ目の色水にスダチを絞る
- ④ 二つ目の色水に重曹を入れて混ぜる
- ⑤ 三つ目の色水に酢を入れる
- ⑥ 初めの色水との色の違いを確認する
- (7) スダチを入れた色水に重曹を入れた色水を入れる

ろんな体験を重ねられるようにしていきたいです。



どの工程も注意しないといけない事がいくつかあったのですが、卵パックから全部色水がこ ぼれてしまうなんて事もなく、気を付けて取り組む姿が見られました。初めと終わりには1 年生になった気分で立って挨拶をし、得意気な子どもたちでしたよ。

う? | 「どうしてだろう? | 「もっと知りたいな | が学びの根となり、この気持ちを大切にい



